

植物多様性センターの「ムラサキの純白の花」

ムラサキ科の多年草ムラサキは「武蔵野の名花」として多くの人に親しまれました。昭和 40 年代半ば武蔵野市を中心に三多摩地域で起きたムラサキ栽培の大ブーム。この時広まったムラサキ、実は在来と異なる洋種ムラサキで、洋種の種子が他産地のムラサキと混合する等して、栽培しにくい邦種ムラサキが減少した様です。当センターに咲いているのは邦種です。両者は次で区別可能です。

- ・花：邦種は純白(1cm)、洋種は中央が黄みがかり小さめ(~7mm)
- ・茎：邦種は非常に毛深く毛は不揃い、洋種は毛が少なく短い
- ・葉：邦種は厚みがあり濃緑色、洋種は薄く淡緑色



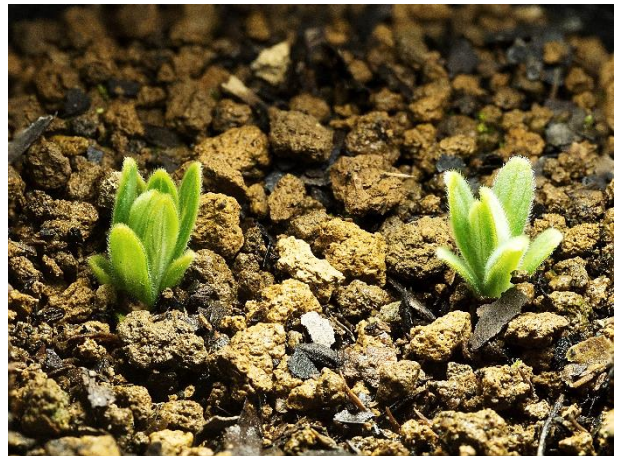
開花した 2 年目のムラサキ
通常の開花期は 6 月頃



堅果から発芽(3/4)
発芽歩留りが良くない



多くの細かい毛に覆われ
寒さに耐える(4/8)



昨年の株跡から出芽(3/7)
こちらも毛深い